



11月6日付け第13号以来のご無沙汰です。インコがこの間、何をしていたかという、11月9日広島地裁前での抗議行動に参加、12月15日那覇地裁前での抗議行動と集会へ乱入、その合間を縫って繰り広げた「裁判員制度はいいない! 全国情報」の中本編集長との「バトル」…とバタバタと羽を動かす日々。

## ○ 広島地裁前抗議行動(11月9日)

広島地裁初の裁判員裁判に対し、「ぜひ、インコちゃんに来てほしい」という要請が。「インコちゃん」あ〜かわいいインコにぴったしの呼ばれ方。嬉しい♪。「行く。行きます」と二つ返事。



広島にはT・K子さんという元気な明るいお姉さんがいた。←「制度廃止くま君」はK子さんのペットとか。初めまして、よろしく。「こちらこそ、よろしく」裁判員制度ってとんでもない制度だよな。「うん、とんでもない制度だよ。ところでインコ君は広島にはどうやって来たの?」飛行機で来たよ。「へ〜、鳥なのに飛んで来なかったんだ」……飛んで来いと?「重たいから飛べないの?」初対面なのに非礼な熊やな。「いや、僕はひぐま」



広島地裁前で抗議行動参加のみなさんと↑

## ○ 那覇地裁前抗議行動と集会(12月15日)

那覇地裁初の裁判員裁判。これに対する抗議行動が朝の8時から10時までと11時から午後1時までの2回地裁前であり、夜には地元の岡島実弁護士と東京から高山俊吉弁護士を招請して集会を開催する、との情報を掴んだ。「北は北海道から南は九州・沖縄まで」という言葉がある。インコは青森まで行き、九州は福岡まで行った。これは絶対に那覇地裁前抗議行動に参加しなければならぬ! 決意を固めて抗議行動に押しかけ参加。ただし、午前中の1回のみね(「インコのお山」の仕事もしなきゃなんないから)

沖縄……抜けるような空、青い海、白い砂浜をイメージして行ったインコだったが、当日はスコールのような雨。ただ、東京に比べて温い。温すぎて蒸し鶏になりそう。やはり朝の1度しか参加できない。

夜の集会。雨で出足が心配されたが、主催者も「大成功」と自賛する集会に。インコも一生懸命、2人の弁護士の講演内容をメモしながら勉強したよ。



## ○ 中本編集長との「バトル」

みなさんは「裁判員制度はいいない! 全国情報」をご存じですか? 10月末に創刊号が刊行され、12月25日付けで第3号が発行の運びとなり、ゲラはすでに印刷に回っている。

10月のある日、中本源太郎弁護士から電話があった。「インコ君。今度、『全国情報』を発行する。編集長は私だ。創刊号では『インコ通信第1号』を転載させてもらいたい。次号からは書き下ろしで連載エッセイを頼めないか。ホッと一息つけるような、それでいて鋭く制度の問題をつつく記事は君にしか書けない」

光栄です。編集長。ぜひ書かせてください。

11月ある日、中本編集長から電話があった。

「第2号の編集会議を行ったが、どの記事も重要で落とすわけには…申し訳ないが、エッセイは休載。第3号で頑張るね」

12月のある日、鳴り響く電話。「もしもし、中本だが、申し訳ない…」

連載といいながら、掲載されないまま、いきなり2号続けて休載だし。

第2号では編集長に「編集後記を書かせろ」とねじ込んだ。

第3号では「編集後記だけでなく、表紙のデザインもやらせろ」とごねた。

「編集委員でもないインコが編集後記を書くのはいかがなものか」

「じゃあ、書いてもいいけど、エッセイ休載の裏話は書かないように」

「裏話を書くなど言ったのに、それしか書かなかったじゃないか」

「表紙? 表紙は顔だ。それを乗っ取るつもりかね」…

この「バトル」に勝利した第3号の表紙デザインがこれ→

みなさん読んでね!

